

(別紙5)

整理番号 2019P-138

補助事業名 2019年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

音楽コンテストへの出場を通して、専門家の評価が得られ、他の演奏機会が増えることで、障がいを持つ音楽家の活動支援とする。また、音楽性・完成度の高い音楽作品の観覧を通じて、障がい者の自立の可能性・必要性について一般の人々の啓発とする。もって、障がい者の分野における社会福祉の増進に資する。

(2) 実施内容

第16回ゴールドコンサート (<http://gc.npojba.org/16>)

2019年10月14日(月・祝)東京国際フォーラム ホールCにて第16回ゴールドコンサートを開催。障がいを持つ音楽家が出場する、本格的な音楽コンテスト。全国、海外から選抜された10組が出場。海外からの出場者(台湾、フィンランド)が昨年より増え、また新たな顔ぶれとなり、グランプリ、楽曲賞、審査員特別賞、観客賞(観客投票の第1位)を決定した。特別ゲストとしてKAZUFUMI、ゲストとして15周年ゴールドコンサートグランプリの口石和人が出演した。特別ゲストとゲスト2名によるコラボレーションも行った。また野田聖子衆議院議員とフィンランド大使館のアリ・ホンカネン一等書記官から挨拶を賜った。



△ 開演前の客席



△ 表彰式の写真

2 予想される事業実施効果

- ゴールドコンサートの受賞者・出場者が、このコンサートをきっかけとして、演奏のみならず、出演依頼や各メディアの取材依頼を受けるなど、音楽活動の場の拡大。(ゴールドコンサートの出場をきっかけに大手メディアに取り上げられたり、タイアップされたことによって、音楽関係者の目にとまりCDデビューした出場者

(別紙5)

もいた)

- 事業の継続をすることで、多くの障がいをもつ音楽家の実力が、自分自身・社会に対して証明されるため、自立と社会進出の足掛かりとなる。
- 観客は障がい者が奏でる音楽のレベルの高さに意外性を覚え、障がいに対して関心を持ち、障がい者の「出来る」部分に注目し始める。
- 障がい児や保護者が鑑賞することで、将来について話し合うきっかけになり意識に変化をもたらす。
- ゴールドコンサートの受賞者・出場者の出演依頼やメディア露出の増加により、イベントの知名度が上がり、音楽家を目指す障がい者が、本コンサートへの出場を目標とすることが活動の意欲となり、日々努力をすることで将来のステップへのきっかけとなる。

### 3 補助事業に係わる成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

##### 第16回ゴールドコンサート報告書 (DVD付き)



(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人日本バリアフリー協会  
(トクテイヒエイリカツドウホウジンニホンバリアフリーキョウカイ)

住 所 : 〒102-0093  
東京都千代田区平河町1-7-16-801

代 表 者 : 代表理事 貝谷 嘉洋 (カイヤ ヨシヒロ)

担 当 部 署 :

担 当 者 名 : 山口 香菜 (ヤマグチ カナ)

電 話 番 号 : 03-5215-1485

F A X : 03-5215-1735

E - m a i l : [yamaguchi@npjba.org](mailto:yamaguchi@npjba.org)

U R L : <http://www.npojba.org>